

平成26年度事業計画

(平成26年3月1日から平成27年2月28日まで)

平成26年度において、本会は溶接研究の拡充振興および溶接教育の推進強化を目標として下記の事業を行う。

1. 全国大会 (定款4条1項)

1.1 春季全国大会

平成26年4月22日～24日：東京ビッグサイト（東京国際展示場）（東京）

研究発表講演（107件）、特別講演「異材接合の現状と課題」、シンポジウム「省エネを実現する異材接合技術の最新動向」（講演6件）、フォーラム「スモールスケール接合・加工の現状と今後の展開」（講演4件）、若手会員の会イブニングフォーラム「溶接・接合部の欠陥評価や品質管理の現状」

1.2 秋季全国大会

平成26年9月10日～12日：黒部市宇奈月国際会館「セレネ」（富山）

研究発表講演、特別講演、溶接学会論文賞受賞講演
フォーラム、ポスターセッション、技術セッション、ワークショップ

2. 講習会 (定款4条1項)

2.1 平成26年度溶接入門講座（第45回）

会 期 平成26年6月12日，13日

会 場 科学技術館（東京）

2.2 平成26年度溶接工学夏季大学（第62回）「溶接中堅技術者講座」

会 期 平成26年7月30日～8月1日（3日間）

会 場 大阪大学大学院工学研究科 岡田メモリアルホール（大阪）

2.3 平成26年度溶接専門講座（第1回）

会 期 平成26年10月31日

会 場 東京地区

3. 刊 行 (定款4条3項)

3.1 溶接学会誌83巻2号（平成26年3月号）～84巻1号（平成27年1月号）8冊

3.2 溶接学会論文集（WEB出版）第32巻2号（平成26年4月）～第33巻1号（平成27年3月）4冊

3.3 全国大会講演概要集（第94集及び第95集）2冊

3.4 平成26年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

3.5 溶接学会技術資料を随時刊行する。

4. 第82回通常総会

開催期日 平成26年4月23日（水）10:00～12:00

開催場所 東京ビッグサイト 会議棟6階「607会議室」
〒135-0063 東京都江東区有明3-21-1

- 議 題
1. 平成25年度事業報告の件
 2. 平成25年度決算の件
 3. 監査報告
 4. 平成26・27年度理事・監事選任の件
 5. 会員種別及び入退会等規程改定の件
 6. 平成26年度事業計画の件
 7. 平成26年度予算の件
 8. 名誉員推薦
 9. 特別員推薦
 10. 表彰
 11. 溶接学会フェロー認定

5. 役員会等

5.1 理事会

定例理事会を6回（3, 4, 6, 9, 12, 2各月）及び必要あるとき開催

5.2 各業務担当理事会

必要あるとき随時開催

5.3 支部長会議

必要あるとき随時開催

6. 業務委員会活動

6.1 企画委員会

本会の使命は、溶接接合技術をコアとしたものづくりの確固たる学術基盤の構築と、high次元での溶接接合研究の先導であることを認識し、研究開発者と技術者が知的好奇心を満たせるインタラクティブな情報交換の場を提供できるよう、全国大会や支部活動、研究委員会などのあり方を検討する。平成26年度は、会員のみならず、広く社会に対して本会の存在意義を認識してもらえよう活動企画する。学会誌、論文集、メールマガジンなどを通じた本会の学術・技術情報の発信は、その重要な役割を担うものであり、日本溶接協会との連携強化も図りながら、学会活性化に努める。また、研究委員会や専門（分野別）講座の進め方を検討する。さらに、WEBによるWelding Letterの発行に向けた検討を進める。

6.2 溶接情報化委員会

定例委員会及び情報化WGを開催し、会員への各種サービス提供の効率化・迅速化を図るため、会員入退会、委員会委員認証、会費、イベント情報発信などを一元化できる情報管理システムを新たに構築する検討を具現化させる。この情報管理システムは、研究委員会のコンテンツを扱う委員会システム、論文の査読システム、及び、J-STAGEともリンクさせる予定である。

研究委員会学会誌や論文集、全国大会講演概要のアーカイブ化を進めるとともに、会員への溶接関連情報の速報として「溶接学会便り」をE-mailで発信する。また、日本溶接協会（溶接情報センター及び溶接会館図書室）と連携して、溶接情報の充実化と一般公開を推進する。

6.3 編集委員会

溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集及び刊行を行う。論文集はWEB論文集として発行する。溶接学会誌は年8号を刊行し、特集、レビュー&トレンドなどの企画を行う。溶接接合教室－実践編－を継続して連載する。また、本連載が平成26年度で終了するので、平成27年度から開始する新連載の企画立案を行う。

溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニターによるアンケートを実施し、学会誌の内容充実に努める。平成25年のアンケートの取りまとめを行い、集計結果を学会誌（Vol.83 No.5予定）にて報告する。年間の学会誌掲載記事より、ベストオナー賞候補者を選考する。

学会誌記事の一部について、カラー図面や動画をWebから閲覧可能なように、電子化の試行を行う。また、電子化に対する会員の要望を把握するためアンケート調査を実施する。

溶接学会誌は創刊号からを対象として、科学技術情報発信・流通総合システム（J-stage）にて、会員には発行直後から公開、非会員には発行日から3年経過後に公開する。溶接学会論文集は

創刊号からを対象として、会員には発行直後から同サービスにて公開する。但し、非会員には非公開とする。英文誌 STWJ (Science and Technology of Welding and Joining) の共同編集に引き続き参加する。

6.4 論文査読・審査委員会

ウェブ利用による電子委員会は開始から8年を経過して軌道に乗り定着し、平成24年度末からペーパーレスに対応した電子査読システムの運用を開始した。これにより、以前のシステムより投稿から掲載までの期間の短縮を促進している。さらなる、査読者への利便性と短縮を図るために、使いやすい電子査読システムへの改善を図っていく。期間短縮と投稿者の要望に応えるために、投稿受付の Express 査読を、当初、平成26年度の春期全国大会からの推薦論文から行う予定である。この査読過程でシステムの課題を検討する。

また、研究成果の速報を論文集により行えるように Welding letter の新設も継続して検討する。原則年度内1回の全委員が集まる定例委員会を開催し、電子委員会システム遂行上の課題の確認と改善のための検討、およびインターネットのみでは伝わりにくい種々の意見交換および議論にあてる。STWJ への推薦論文を選考し、同誌への投稿を推進することで海外への本学会研究活動の情報発信を引き続き進める。しかし、STWJ への推薦論文が減少傾向にあるため、その原因と改善を検討する。

6.5 全国大会運営委員会

- (1) 全国大会の企画・運営について審議決定及び実施する。
- (2) 講演概要集第94集及び第95集を発行する。
- (3) 平成26年度秋季および平成27年度春季全国大会プログラムを編成する。
- (4) 全国大会における35歳以下の研究者による研究発表に対し、溶接学会優秀研究発表賞の審査・推薦を行う。
- (5) 全国大会における35歳以下の研究者によるポスター発表に対し、溶接学会優秀ポスター発表賞の審査・推薦を行う。
- (6) 平成27年度春季全国大会からの講演概要集のデジタル化に向けて、運用・発行等の詳細を検討する。

6.6 溶接教育委員会

- (1) 必要に応じて委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討する。
- (2) 26年度 IIW 国際溶接技術者特認コースの試験実施に向けて、J-ANB・日本溶接協会と連携し、プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験などの実施要領を検討する。
- (3) IIW 特認コースの受験者のために、本部・支部主催の講座・講習会をモジュール毎に整理するとともに、受講者のニーズをヒアリングしながら、内容を企画立案し実施する。
 - 1) 平成26年度溶接工学夏季大学（前掲）
 - 2) 平成26年度溶接入門講座（前掲）
 - 3) 溶接専門講座（研究委員会と共催）
 - 4) 溶接技術実用講座（支部と共催）
 - 5) 新規企画講習会、セミナーなど
- (4) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施する講習会やセミナー、シンポジウムについて、IIW 特認コース WG と連携して IIW 履修ポイントを算定・認定する。
- (5) IIW 第 XIV 委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換する。
- (6) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会と教育機関（大学・高専・工業高校）の連携について検討する。

6.7 国際交流委員会

- (1) 必要ある時随時開催し、国際交流事業の企画立案及び実行態勢の整備を行う。
- (2) 国際溶接学会（第67回 IIW 年次大会、7/13-18@ 韓国・ソウル、中間会議 3/30-4/5@ ドイツ・ベルリン）に参加する。
- (3) アジア溶接連盟（AWF）の活動及びシンポジウムに引き続き参加する。
- (4) Trends in Welding Research 国際会議（ASM）を2015年、日本での共催開催を検討する。

7. 若手会員の会

7.1 若手会員の会運営委員会

若手会員間のネットワーク強化・国際化を促進するとともに、地方支部での若手会員の活動を積極的に支援する。また、若手会員・学生員、および賛助員企業の学会活動に対する積極的な参加を促すことを目的に、若手会員・学生員、および賛助員企業に対して魅力ある各種イベント・事業を企画・実施する。さらに、学会員以外の方々にも参加していただき、学会員の増強・学会の広報の一助となるような行事を企画し、より幅広く活動を展開する。

7.2 イベント

- (1) 春季全国大会フォーラム
主 題：溶接・接合部の欠陥評価や品質管理の現状（講演3件）
日 時：平成26年4月23日（水）17:00～18:55
場 所：東京ビッグサイト 会議棟 6 階 609 会議室（春季全国大会開催会場）
- (2) 秋季全国大会 ポスターセッション運営協力
日 時：平成26年9月11日（木）予定
場 所：黒部市宇奈月国際会館「セレネ」（秋季全国大会開催会場）
- (3) 東北地区での若手研究会と施設見学会（東北支部と共催）
日時・場所：平成26年7月18日～19日
仙台市情報・産業プラザ（ER）、「見学先調整中」（宮城県）
- (4) 関東地区での若手研究会と施設見学会
日時・場所：平成26年11月頃（予定）、場所未定
- (5) 溶接若手 WELNET 勉強会（年4回の予定）
日時・場所：平成26年4月24日・東京（第1回）、平成26年7月19日・宮城（第2回）、平成26年9月12日・富山（第3回）、平成26年11月頃・会場未定（第4回）
- (6) 若手会員間の交流活性化、若手会員活動の活性化、若手会員の増強などに資する提言を行う。

7.3 情報交換および広報

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集のページ」に連載記事、活動報告等を掲載する。
- (2) 溶接学会誌に「スポットライト—若手の特集記事—」を掲載する。
- (3) ホームページに、活動報告、研究室・研究所紹介等の情報を掲載する。
- (4) メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進する。

8. 研究活動

8.1 研究推進部会

- (1) 随時開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに特別研究会、アドホック研究会及びミニ研究会等の設置についての起案・規模策定及び理事会への答申等を

行う。学会活動の情報化に伴う研究委員会ホームページの拡充，研究委員会設置形態の見直し，国際化対応等について検討する。

- (2) 春季全国大会においてフォーラム（マイクロ接合研究委員会）を開催する。
- (3) 秋季全国大会においてフォーラム（界面接合研究委員会）を開催する。
- (4) 溶接学会記念基金助成活動

「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会（山本元道 主査）

平成26年度に中国にて開催予定の第4回日中韓ジョイントシンポジウム（4th EAST-WJ）に講演者派遣を行う。日中韓ジョイントシンポジウムは若手に限定したものではないが，第3回シンポジウムから各国3件ずつ若手講演者を出すことになったため，日本の若手講演者として本会メンバーから3名の講師を派遣し，若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワーク形成につなげるための活動を行う。

8.2 溶接構造研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (3) 開催期，開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第203回	3月	東京	研究報告 5件 (日本船舶海洋工学会材料溶接研究会との合同委員会)
第204回	7月	大阪	研究報告 4件
第205回	12月	大阪	溶接構造シンポジウム2014として開催
第206回	1月	地方	研究報告 4件

溶接構造シンポジウム2014を開催する

8.3 溶接法研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (4) 開催期，開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第226回	5月	東京	研究報告 5～6件
第227回	8月	大阪	研究報告 5～6件
第228回		地方	研究報告 5～6件 見学会
第229回	1月～2月	東京	研究報告 10～12件 (溶接冶金研究委員会と合同)

JIW 第12委員会，JIW 第212委員会と協力して国際研究活動を行う

8.4 溶接冶金研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (4) 開催期，開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第215回	5月	大阪	研究報告 5～6件
第216回	8月～9月	北海道	研究報告 5～6件 見学会
第217回	10月	東京	研究報告 5～6件
第218回	1月～2月	東京	研究報告 10～12件 (溶接法研究委員会と合同)
S7回	6月	大阪	腐食防食学会との研究交流・合同委員会
S8回		東京	腐食防食学会との研究交流・合同委員会
溶接接合部腐食事例講習会	1月	東京	腐食防食学会との合同開催

ブリテン「溶接冶金現象のシミュレーションと可視化研究（仮題）」の発刊

JIW 第9委員会と協力して国際研究活動を行う

専門講座の実施

腐食防食学会との研究交流・合同委員会を開催する

8.5 溶接疲労強度研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする

(4) 開催期，開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第241回	4月	東京	研究報告 4～5件
第242回	6月	東京	研究報告 4～5件
第243回	11月	地方	研究報告 4～5件 見学会
第244回	1月	東京	研究報告 4～5件

8.6 高エネルギービーム加工研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (4) 開催期，開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第76回	6月	東京	研究報告 5～6件
第77回	10月	未定	研究報告 3件 見学会
第78回	2月	大阪	研究報告 5～6件

JIW 第4委員会と協力して国際研究活動を行う

8.7 軽構造接合加工研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (4) 開催期，開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第105回	4月	東京	講演、研究報告 5～6件
第106回	9月	大阪	講演、研究報告 5～6件
第107回		地方	講演、研究報告 5～6件 見学会
第108回	1月	東京	講演、研究報告 5～6件

他の研究委員会，他学協会と協力して活動する

WG 活動を行う

8.8 マイクロ接合研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (3) 開催期，開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第106回	4月	東京	講演 春季全国大会フォーラムと併催
第107回	7月	大阪	講演、研究発表 4～6件
第108回	10月	地方	講演、研究発表 4～6件
第109回	12月	東京	講演、研究発表 4～6件

Mate2015をスマートプロセス学会エレクトロニクス生産科学部会と共同で主催する

8.9 界面接合研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 会 期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (3) 開催期，開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第96回	6月	東京	特別講演1件・研究発表 4～5件
第97回	10月	東京	特別講演1件・研究発表 4～5件
第98回	1月	東京	特別講演1件・研究発表 4～5件

JIW第1委員会などと協力して国際研究活動を行う

9. 国内活動

9.1 日本溶接協会，軽金属溶接協会，日本学術会議材料工学委員会，日本非破壊検査協会，日本高圧力技術協会，腐食防食学会，日本機械学会，日本材料学会，日本金属学会，日本鉄鋼協会，日本自動車技術会，日本工学会，その他関係学協会との協力を進め，本会の目標達成を図る。

9.2 支部活動の活性化を図る。

10. 国際活動

10.1 JIWの活動を支援し，IIWの活動を通じて溶接に関する国際活動を行う。

10.2 各国学協会と各種情報，機関誌等を交換し交流を図る。

10.3 日本，中国，韓国3ヶ国ジョイントシンポジウムの第4回を中国において開催する。

10.4 アジア溶接連盟（AWF）の活動及びシンポジウムに引き続き参加する。

平成26年度支部事業計画

1. 北海道支部

1. 事業

1.1 溶接技術講習会

(開催日時・場所・講演題目・講師：未定)

1.2 見学会

(開催日時、場所：未定)

2. 会務

2.1 平成26年度支部商議員会並びに支部総会

日時：平成26年3月17日(月) 16:00～17:00

場所：北海道大学工学部 材料化学棟 中会議室 MC102 室

議事：1) 平成24年度事業報告・決算報告・監査報告

2) 平成25年度事業計画・収支予算

3) 支部役員改選について

2.2 幹事会

第1回：平成26年3月17日(月) 15:00～16:00

場所：北海道大学工学部 材料化学棟 中会議室 MC102 室

第2回：5, 6月を予定

2.3 平成27年度秋季全国大会実行委員会

第1回実行委員会(5月頃開催予定)

随時開催予定

2. 東北支部

1. 事業

1.1 第26回溶接・接合研究会

日時：平成26年7月18日(金) 13:00～17:00

場所：AER 6 階 情報・産業プラザ

(仙台市青葉区中央1丁目3番1号)

講演発表：10件程度

参加者数：50名程度

1.2 夏季技術セミナー

日時：平成25年8月下旬

場所：福島県(予定)

1.3 刊行：なし

2. 会務

2.1 第51回商議員会

日時：平成25年5月17日(土) 11:00～12:00

場所：東北地区溶接技術検定委員会会議室にて開催

2.2 表彰

日時：平成25年5月17日(土) 12:00～12:30

場所：東北地区溶接技術検定委員会会議室にて開催

2.3 総会：商議員会議事録抜粋を支部会員に郵送(平成25年6月中旬)

3. 東部支部

1. 事業

1.1 第42回 実用溶接講座(見学会&講演会)

平成26年秋に実施予定.

主題：詳細検討中.

1.2 地区講演会・講習会

(1) 東京地区(地区委員長：須田一師(日鐵住金溶接工業))

実施予定(詳細未定).

(2) 神奈川地区(地区委員長：幸村正晴(神戸製鋼所))

実施予定(詳細未定).

(3) 千葉地区(地区委員長：加藤数良(日本大学))

溶接技術講習会

主 題：「未定」

主 催：(社)千葉県溶接協会

共 催：(社)溶接学会 東部支部 千葉地区委員会

開催日：平成26年3月20日(木), 9:30～15:40

開催場所：千葉県産業支援技術研究所

講演題目(講師)：未定

(4) 埼玉地区(地区委員長：金子裕良(埼玉大学))

実施予定(詳細未定).

(5) 群馬地区(地区委員長：楠元一臣(群馬大学))

実施予定(詳細未定).

(6) 栃木地区(地区委員長：中島章典(宇都宮大学))

実施予定(詳細未定).

(7) 茨城地区(地区委員長：中村照美(物質・材料研究機構))

実施予定(詳細未定).

(8) 山梨地区(地区委員長：宮川和幸(山梨県工業技術センター))

山梨地区講演会

共 催：山梨県工業技術センター

開催日時：平成26年3月7日(金) 13:30～16:30

開催場所：山梨県工業技術センター

(山梨県甲府市大津町2094)

講演題目：チタンの特性と加工における留意点

講 師：一般社団法人 日本チタン協会 企画部長 木下和宏 氏

(9) 長野地区(地区委員長：中込忠男(信州大学))

本年度は実施予定なし.

(10) 新潟地区(地区委員長：宮下幸雄(長岡技術科学大学))

講演会「最新の溶接技術と信頼性評価(仮)」

主 催：(財)燕三条地場産業振興センター

(社)溶接学会 東部支部 新潟地区委員会

(社)日本材料学会 北陸信越支部

開催日：平成26年3月26日(水) 13:30～17:30(予定)

開催場所：(財)燕三条地場産業振興センター

(三条市須頃1-17)

講演題目：

1) 浪速博士に学ぶ溶接がってん！ー最新技術へ繋ぐ溶接の基本ー

大阪大学接合科学研究所 田中 学 氏

2) ファイバーレーザーの最新技術と応用

IPGフォトリクスジャパン(株) 宮田一成 氏

3) 事例に学ぶ破面解析の基礎の基礎

労働安全衛生総合研究所 山際謙太 氏

2. 会務

2.1 平成26年度、支部通常総会

平成25年度事業報告および会務報告

平成25年度収支決算報告

平成25年度事業および収支決算に関する監査報告

役員改選にともなう新役員承認の件

平成26年度事業計画報告

平成26年度収支予算報告

2.2 表彰

1) 平成25年度 溶接技術奨励賞、溶接技術普及賞の表彰

平成26年5月、開催予定の支部総会にて受賞式を行い表彰する.

受賞祝賀会：受賞式終了後、秋葉原駅周辺にて実施予定.

2) 平成25年度 溶接学会奨学賞の表彰

平成26年3月楯を推薦者に送付し、推薦者から受賞者に楯を授与して表彰する.

2.3 常任幹事会・地区委員長会議

年4回、適宜開催する.

4. 東海支部

1. 事業

1.1 溶接研究会、講習会

(1) 溶接研究会

- 第81回 平成26年7月 名古屋市工業研究所
第82回 平成26年10月 名古屋市工業研究所
第83回 平成27年1月 名古屋市工業研究所

(2) 溶接技術講習会

- 第21回 平成26年11月 名古屋市工業研究所

2. 会務

2.1 平成26年度支部総会及び特別講演

日時：平成26年5月

場所：名古屋市工業研究所

議事：

- 1) 平成25年度事業報告及び決算報告
 - 2) 平成25年度溶接学会技術賞授賞式
 - 3) 平成26年度事業計画案及び予算案の審議
- 特別講演2件

2.2 支部商議員会

- 第1回商議員会 平成26年5月 名古屋市工業研究所

- 第2回商議員会 平成26年11月 名古屋市工業研究所

5. 北陸支部

1. 事業

1.1 特別講演会

開催回数；2回，開催日：5月，11月，

場 所：富山県工業技術センター（5月），11月は未定
内 容；

- ・第1回目講演会；富山県工業技術センター（高岡市）にて講演会を企画予定
- ・第2回目講演会：未定

1.2 研究発表会

開催日；11月 場所，内容は，未定

1.3 平成26年度秋季全国大会 北陸支部主催行事

開催日 平成26年9月10日（水）～12日（金）

場 所 黒部市宇奈月国際会館「セレネ」
（黒部市宇奈月温泉6-3）

内 容

- ・9月10日（水）懇親会（宇奈月ホテルニューオータニ）
- ・9月11日（木）技術セッション
- ・9月12日（金）ワークショップ，見学会
- ・9月10日（水）～12日（金）カタログ・製品展示

2. 会務

2.1 平成26年度総会

開催日；5月予定 場所；富山県工業技術センター

2.2 商議員会

開催時期（5月，11月予定），場所；通常総会と同時開催（未定）

2.3 平成26年度秋季全国大会実行委員会

第1回実行委員会（4月頃開催予定）

3回程度開催予定

6. 関西支部

1. 事業

(1) 平成26年度講演・工場見学会

関西地区の工場見学および研究発表を計画（平成26年秋頃，場所・テーマ未定）

(2) 上記研究発表テキストを刊行予定

(3) 支部表彰式を役員会開催に併せて実施予定

2. 会務

(1) 役員会

平成26年度役員会を平成26年5月頃に開催予定（場所未定）

7. 中国支部

1. 事業

1.1 平成26年度溶接接合工学会学修会

（開催日時・場所・講演題目・講師：未定）

1.2 平成26年度溶接技術講習会

（開催日時・場所・講演題目・講師：未定）

1.3 平成26年度研究会・見学会

（開催日時・場所：未定）

2. 会務

2.1 第1回支部幹事会

日程：平成26年6月

場所：広島市内

2.2 第2回支部幹事会

日程：平成26年12月

場所：広島市内

2.3 第3回支部幹事会（支部商議員会と同時開催），支部総会

日程：平成27年3月

場所：広島市内

8. 四国支部

1. 事業

1.1 支部総会

・支部総会

日時：平成25年9月6日（金）13：00～14：20

場所：（社）日本溶接協会四国地区溶接技術検定委員会

1.2 講演会・講習会

・特別講演会

「次世代溶接・接合プロセスの開発について」

大阪大学溶接科学研究所 田中 学 氏

日時：平成26年8月29日（金）14：00～16：00

場所：（社）日本溶接協会四国地区溶接技術検定委員会

1.3 第19回材料関連学協会支部・研究会連合講演会

主催：溶接学会四国支部

日時：平成26年3月6日（木）13：00～17：25

場所：（社）日本溶接協会四国地区溶接技術検定委員会

1.4 刊行

出版物名：第19回材料関連学協会支部・研究会連合講演会
講演概要集

2. 会務

2.1 常任幹事，地区委員長会議

2.1.1 平成26年度第1回幹事会

日時：平成26年3月6日（木）12：00～13：00

場所：（社）日本溶接協会四国地区溶接技術検定委員会

2.1.2 平成26年度第2回幹事会

日時：平成26年8月29日（金）12：30～13：30

場所：（社）日本溶接協会四国地区溶接技術検定委員会

9. 九州支部

1. 事業

1.1 平成26年度溶接学会九州支部研究発表会

日時：平成26年7月下旬（予定）

会場：北九州地区

研究発表15件程度

参加者：30～40名

1.2 若手グループ研究会・見学会

日時，会場 調整中

1.3 溶接技術者育成教育

1.4 刊行

出版物名：溶接学会九州支部講演論文集，第11号

2. 会務

2.1 平成26年度商議員会

日時：平成26年7月下旬（予定）

会場：北九州地区

2.2 平成26年度通常総会

日時：平成26年7月下旬（予定）

会場：北九州地区